

令和6年第1回定例会

歌志内市議会会議録

第6日目（令和6年3月19日）

（午前 9時58分 開議）

開 議 宣 告

○議長（本田加津子君） おはようございます。

ただいま出席している議員は8名であります。定足数を満たしておりますので、これより本日の会議を開きます。

会議録署名議員の指名

○議長（本田加津子君） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、議長において2番佐藤良治さん、5番川野敏夫さんを指名いたします。

諸 般 報 告

○議長（本田加津子君） 日程第2 諸般報告であります。

事務局長から報告をいたします。

三浦議会事務局長。

○議会事務局長（三浦悟君） 報告いたします。

本日付議されます議案は、条例予算等審査特別委員会、委員長よりの報告1件であります。

本日の議事日程については、別紙配付してあります議事日程表のとおりであります。

次に、議員の出欠席の状況であります。本日は全員の出席であります。

以上で、報告を終わります。

○議長（本田加津子君） 特段の発言はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（本田加津子君） ないようでありますので、諸般報告を終わります。

報 告 第 4 号

○議長（本田加津子君） 日程第3 報告第4号議案第5号歌志内市の特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第6号歌志内市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第17号令和6年度歌志内市一般会計予算、議案第18号令和6年度歌志内市国民健康保険特別会計予算、議案第19号令和6年度歌志内市後期高齢者医療特別会計予算、議案第

20号令和6年度歌志内市病院事業会計予算、議案第21号令和6年度歌志内市下水道事業会計予算、以上、令和6年3月7日条例・予算等審査特別委員会付託を議題といたします。

この件について特別委員会委員長の報告を求めます。

条例・予算等審査特別委員会委員長、山崎瑞紀さん。

○条例・予算審査特別委員会委員長（山崎瑞紀君） 一登壇一

報告第4号、条例・予算等審査特別委員会審査報告書。

当委員会に休会中の審査として付託を受けた事件について審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第105条の規定により報告いたします。  
記。

1. 事件

議案第5号歌志内市特別職の職員で、非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について。

議案第6号歌志内市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について。

議案第17号令和6年度歌志内市一般会計予算。

議案18号令和6年度歌志内市国民健康保険特別会計予算。

議案19号令和6年度歌志内市後期高齢者医療特別会計予算。

議案20号令和6年度歌志内市病院事業会計予算。

議案第21号令和6年度歌志内市下水道事業会計予算（令和6年3月7日付託）。

2. 審査の経過

3月13日、14日、15日、18日の4日間、本特別委員会を開催し慎重に審査した。

3. 審査の結果。

議案第5号、議案第6号及び議案第18号から議案第21号までの6件の議案については、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

議案第17号については、否決すべきものと決定した。

以上でございます。

○議長（本田加津子君） これより、条例・予算等審査特別委員会委員長報告のうち、議案第17号令和6年度歌志内市一般会計予算については、質疑を省略したいと思います、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（本田加津子君） ご異議なしと認めます。

本件は、質疑を省略することに決しました。

これより、討論に入ります。

討論ありませんか。

佐藤良治さん。

○2番（佐藤良治君） 議案第17号令和6年度一般会計予算に対して、賛成の立場から討論いたします。

令和6年度の一般会計予算については、児童センター等一元化施設の新築を初めとして、新型コロナウイルス感染症や帯状疱疹にかかるワクチン接種費用、また65歳以上の高齢者を対象とした移動外出支援、昨今の物価高騰に苦しむ市民生活や市内経済の活性化を目的としたプレミアム付き商品券発行事業にかかる予算など、歌志内市総合計画の基本理念にある「みんなでつくる笑顔あふれるまち」の実現に向け、限られた財源を効果的に活用した予算であり、全

てが市民サービスの維持向上を図るための重要な予算であると考えております。

柴田市長を初め、市職員には、常に視線を市民に向け、市民の方々の福祉向上のためにという市政を踏まえた行政運営、予算執行をお願い申し上げるとともに、私たち議会と行政が両輪となって人口減少や地域の活性化といった共通した大きな課題を解決するために同じ方向に向かい真摯に建設的な議論を重ね、市民にとって暮らしやすいまちづくりの取り組みが進められるよう、改めて私たち議会に対して速やかな情報の共有をお願いするところでございます。

議員各位におかれましては、この主旨を十分に理解していただき、御賛同くださるようお願い申し上げます。

○議長（本田加津子君） 原案に賛成する議員の発言がありましたので、反対する議員の発言を求めます。

女鹿聡さん。

○6番（女鹿聡君） 議案第17号令和6年度一般会計予算に対して、反対の立場で討論を行います。

まず初めに一つ目ですが、今回の予算について、予算提出から予算審議終了までに様々な問題が起こり、どうしても今回の予算に対して信頼できる内容ではないと考えます。各所管の職員が、今年度予算作成に当たり真剣に取り組んでいただいていることは承知するところであります。しかしあまりにも今回の議会に関して議案の遅延、差し替え、訂正などが目立ち、本当に今予算案がきちんとした内容なのか私は疑問が残りました。

昨年行った決算委員会の中で発覚した調定額の漏れからはじまり、議会としてその件に関する事務手続を早急に行っていただきたいとの要望にもかかわらず、事務処理を未だに行っておらず、議会側の要請を棚に上げて新年度予算の審査をお願いしますというのは、いささか問題があると思います。決算と予算は一連のものであると私は考えております。

また今回の一連の騒動については、関係所管だけの問題ではないと考えます。各課においての人事異動や退職者によって起きた人員配置の問題、予算作成する職員の過重負担、提出議案に対するチェック体制、様々な要因が今回の状況を生み出したのではないかと思います。

できることなら今回の新年度予算については一度取り下げ、全庁内挙げて改めて総点検して再度出し直ししていただきたいと感じております。

このようなことは私が議員になってから当然、前任者が議員になったときにも起きた記憶がないと言っておりました。これは異常な状況であります。何より市長・副市長が現役の職員時代でもこのようなことはなかったのではないかと思います。それだけ今回の状況は大きな問題として考える必要があります。

そのために今回の状況において混乱を招いた関係所管以下の責任者と市長・副市長には議会を混乱させた責任を何らかの形でとるべき事案であり、今後の各課における人員配置には慎重な対応が必要と考えます。

議会側から人事異動について関与できないのは、十分承知しております。しかし、今回の問題は議会側として混乱が生じたのは事実でありますので、二度と今回の事例が起こらないための対応をお願いしたいと思います。

二つ目です。児童一元化施設、そして教職員住宅に関する予算についても、多くの住民に周知されておらず、住民の声を聴く時間的余裕があまりにも少ないと感じました。そのため、予算措置されるまでから今議会内までに審議する時間は当然少なかったのではないかと思います。これは大規模事業を行う上で、何より大事な住民の声を置き去りにしている行政運営だと私は感じます。

最後に、私は自身の選挙のときに、選挙ポスターに「住民が主人公のまちづくり」と書いて臨んでおります。今年度予算には住民に寄り添った評価のできる内容のものが入っているにもかかわらず、行政の初歩的ミスで住民が取り残される事態になってしまうことは当然あってはならないことで、非常に残念でなりません。

以上のことから、今回の新年度予算に対して予算作成に携わった各職員には大変申し訳ありませんが、反対せざるを得ない内容のものだと判断いたしました。

よって議案第17号について、反対としたいと思います。

○議長（本田加津子君） 賛否両論が出ましたので、これで討論を終わります。

これより、議案第17号について起立により採決をいたします。

この本件に対する委員長の報告は、否決すべきものであります。

本件については、原案のとおり採決をいたします。

議案第17号について、原案のとおり可決することに賛成する議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（本田加津子君） 賛成多数であります。

したがって、議案第17号は、原案のとおり可決されました。

○議長（本田加津子君） これより、条例・予算等審査特別委員長報告のうち、議案第21号「令和6年度歌志内市下水道事業会計予算」については、質疑を省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（本田加津子君） 御異議なしと認めます。

本件は、質疑を省略することに決しました。

これより討論に入ります。

討論ありませんか。

女鹿聡さん。

○6番（女鹿聡君） 議案第21号下水道事業会計について、反対の立場で討論したいと思います。

今回の下水道会計予算については、あまりにも差し替え事例が発生しすぎて、もはやどれが正規の内容なのか、何が正しい数字なのかわかりません。

本来、上程された議案を訂正することはあってはならないことであります。昨年12月議会において、条例改正の議案に対して訂正を行った事実がありますが、その時には二度と議案の訂正が起きないように努めるということでした。

しかしそれが全く生かされることなく今回の事例が発生したことは、全庁舎内での報告・連絡・相談この報連相とチェック体制が全く機能できていないことを浮き彫りにする形となりました。人がチェックするので、記載漏れや誤字脱字などの誤りが生じるのは仕方ありません。その誤りを最終的にきちんとしたチェック体制をもって議案として出していただくことが職員の勤めでの一つであると私は思っています。

このことから、新年度予算に関する下水道会計は疑わざるを得ない内容のものだと判断して、反対の立場としておきたいと思えます。

○議長（本田加津子君） 反対する議員の発言がありますので、賛成する議員の発言を求めます。

松井敬道さん。

○4番（松井敬道君） 私は、議案第21号令和6年度歌志内市下水道事業会計について賛成

の立場で討論いたします。

令和6年度の下水道事業会計につきましては、議案配布の遅延や議案の訂正があったものの、その予算の内容は施設の適正な維持管理に必要な管渠補修工事やマンホールの補修、経営戦略を見直すための下水道事業、経営戦略改定支援に係る委託料など、下水処理による快適な生活環境と事業会計の健全な財政運営に努めるために必要な予算であると考えますので、今後議案配付の遅延や議案の訂正などがないようチェック体制の強化をお願いして賛成討論いたします。

○議長（本田加津子君） 賛否両論が出ましたので、これで討論を終わります。

これより、議案第21号について起立により採決をいたします。

この本件に対する委員長の報告は、可決すべきものであります。

本件について、委員長の報告のとおり可決することに賛成する議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（本田加津子君） 起立多数であります。

したがって、議案第21号は、原案のとおり可決されました。

これより、条例・予算等審査特別委員長報告のうち、議案第5号歌志内市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第6号歌志内市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第18号令和6年度歌志内市国民健康保険特別会計予算、議案第19号令和6年度歌志内市後期高齢者医療特別会計予算、議案第20号令和6年度歌志内市病院事業会計予算までの5件については、質疑及び討論を省略し、直ちに一括採決したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（本田加津子君） 御異議なしと認めます。

本件は、質疑及び討論を省略し、直ちに一括採決することに決しました。

これより、議案第5号、議案第6号、議案第18号、議案第19号、議案第20号の5件について、一括採決いたします。

この本件に対する条例・予算等審査特別委員長の報告は、いずれも可決すべきものであります。

本件は、条例・予算等審査特別委員長の報告のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（本田加津子君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第5号、議案第6号、議案第18号、議案第19号、議案第20号の5件は、いずれも条例・予算等審査特別委員長の報告のとおり可決されました。

#### 閉会中継続審査の申し出

○議長（本田加津子君） 日程第4 閉会中の継続審査の申し出についてであります。

各委員長より、委員会において審査中の事件について、会議規則第106条の規定により、お手元に配付のとおり閉会中の継続審査の申し出があります。

お諮りいたします。

各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続審査に付することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（本田加津子君） 御異議なしと認めます。

したがって、各委員長からの申し出のとおり閉会中の継続審査に付することに決定いたしました。

## 閉 会 宣 告

○議長（本田加津子君） これで、本日の日程は全部終わりました。

以上をもって、今期定例会の会議に付議された事件は、すべて議了いたしました。

これをもちまして、令和6年歌志内市議会第1定例会を閉会いたします。

大変ご苦労さまでした。

（午前 10時20分 閉会）

上記会議の顛末を記録し、その相違ないことを証するため、  
ここに署名する。

歌志内市議会議長            本     田     加 津 子

署名議員            佐     藤     良     治

署名議員            川     野     敏     夫